

10月4日、カシマサッカースタジアムとなりのト伝の郷運動公園において、「IBARAKIフットボールデー2009 inカシマ」が開催され、延べ1,200名の方が参加しました。このイベントはJFA(日本サッカー協会)の主催で開催され、多くのサッカーファミリーが集い、サッカーファミリーの輪を広げることを目的としています。各都道府県で、たくさんの方が参加できるイベントが実施されているのですが、茨城県でも昨年より開催されています。今年も多くの方々が参加できるイベントが実施されてくれています。当日は、水戸ホーリーホックや鹿島アントラーズ選手のグッズなどが当たる「大抽選会」も実施し、朝から一日中、笑顔と大きな声が響くイベントとなりました。

## PHOTO REPORT



# IBARAKIフットボールデー2009 inカシマ

## 開催

### ファミリーフットサル

10月4日に開催されたファミリーフットサル2009は応募数も多く、36チームの参加がありました。子どもや女性のゴールは2点という特別ルールを採用したので、チームによってはゴール前の前線にお母さんを残して、パスを渡す(当てる?)ような独特な作戦で戦うチームがあったり、勝負にこだわる熱血お父さんがいたり、大変盛り上がり、各コートで熱戦が繰り広げられました。今後このような経験・未経験、男性・女性問わず、みんなで楽しめるようなサッカーの企画を開催したいと思います。今回のピッチで皆様に見えるのを楽しみにしております。



### 名良橋サッカー教室開催

名良橋サッカー教室には、小学1年~3年生の子どもたち、約75人が参加しました。軽いウォーミングアップとして「オニごっこ」を行ったあと、2グループに分かれてシュートとドリブルの練習、そして全体でゲームを行いました。もちろん、名良橋さんもゲームに参加。子どもたちは名良橋さんに本気で勝負しかけるなど、貴重な経験となったようです。2時間という限られた時間でしたが、とても有意義な時間となりました。



### ファンタジスタ検定実施

230名が参加したファンタジスタ検定では、ステージ7・ステージ8・ステージ9を実施いたしました。検定はボールフィーリングやフェイント、ターンを検定員の前行い、クリアしていくと、だんだん難しくなるようになっていきます。1回でできなくても、何回でもチャレンジできるので、子どもたちは必死に練習してチャレンジしていました。ステージ9までクリアした子もいたので、次回はステージを増やして行なう予定です。



### レディースサッカー教室

レディースクリニックには県内外から31名が参加しました。若い参加者が多かったため、少し走りの多いトレーニングを実施。きつい顔をしている人もいましたが、チームメイトからの応援を受けて、最後まで頑張っていました。最後のゲームでは、「ゴールを決めてチーム全員で喜んだら2点」という特別ルールを決めました。各チーム、ゴール後のパフォーマンスを決めていて、ゴールを決める喜びや、それを分かち合う楽しさを感じてくれたようです。初めて会った人同士とは思わせられないような光景が広がって、スタッフも驚くほどでした。



### PK選手権開催

フットボールデーの一環としてPK選手権を開催。当日募集にもかかわらず、たくさんの方々に参加していただきました。特に親子チームの参加が多く、お父さんがファインセーブを見せたり、女の子が裸足で力強いキックを見せるなど、とても白熱していました。参加者をはじめ、スタッフの協力もあり、大会が成立できたことにとても感謝しています。また機会がありましたらご参加いただけますよう、お願いいたします。



### シニア大会開催

シニア大会には、35歳以上の地元チームや、茨城県サッカー協会選抜の4チームなどが参加して実施されました。皆さん、笑顔のなかでも真剣勝負が繰り広げられ、白熱した試合が展開されました。優勝チームには50歳の方もいらっしゃいました。



### Jキッズキャラバン開催

フットボールデーのブースに、Jリーグアカデミー独自の遊具である、ドリブルやキックターゲットなどのアトラクションを設置して、楽しく挑戦できる「Jキッズキャラバン」を実施しました。アトラクションに挑戦して最高記録を達成すると賞品が渡されるので、幼稚園、小学生、お父さん、お母さんなど多くの方が何度も挑戦していました。なかなかサッカーボールに触れる機会がないお母さんたちが気軽に参加して楽しんでいたのが印象的でした。見たことのない遊具ばかりなので、どのアトラクションも行列ができて大盛況でした。大好評だったJキッズキャラバンですが、またどこかのイベントに突然現れるかもしれません。その時にはぜひ挑戦してみてください。



### 健康講座

カシマウェルネスプラザより講師をお招きして、格闘技系の「ボディコンバット」とヨガ系の「ルーシーダットン」を実施しました。「ボディコンバット」では、はじめは慣れない身振りに戸惑っていたお母さんたちも、終わりには大汗かきながらリズミカルに動いていました。「ルーシーダットン」では、芝生に裸足で座ったり寝転んだりしながら、講師の先生の動作を真似していました。健康講座に参加することを楽しみにしていたお母さんも多かったようで、子どものサッカー観戦だけでなく、サッカーを通じてこのようなプログラムを体験できたことはよい経験になったのではないのでしょうか。今回参加された方や、興味を持った方は、ぜひカシマウェルネスプラザにお問い合わせください。

### ハンデキャップサッカー

今回のハンデキャップサッカーには、3つの福祉施設から4チーム、養護学校から1チームと、計5チームが参加しました。新たな試みとして、交流試合の前に、鹿島アントラーズの普及部コーチによるサッカー教室を開催しました。試合前のウォー

ミングアップを兼ねての教室となりましたが、特に福祉施設の選手たちはプロコーチによる指導を受けるのは初めての方が多く、とても楽しんでボールを蹴っていたように思います。こういった機会をもっと増やしていきたいと感じました。

